



各務原市政記者クラブ同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和7年6月16日（月）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 地域連携推進本部地域協学センター、工学部附属宇宙研究 利用推進センター	佐々木 宮坂	直通・FAX 058-293-3880 直通・FAX 058-293-2523
岐阜県 商工労働部 航空宇宙産業課 産業振興係	千原 高井	内線3762 直通058-272-8836 FAX 058-278-2653
各務原市 産業活力部 観光交流課	林	直通058-383-9926 FAX 058-389-0765

岐阜大学との連携事業 宇宙工学講座の開講式を開催します

県では、宇宙産業を県の中核産業として育成するため、岐阜大学と連携し、将来の宇宙産業を担う人材育成に取り組んでいます。

このたび、県内高校生・高専生を対象として、宇宙に関する基礎的な知識や技術を学ぶ「宇宙工学講座」を開講するにあたり、下記のとおり開講式を開催します。

記

1 開講式等

日 時 令和7年6月22日（日）13:00～16:55
場 所 岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 1階 シアタールーム
(各務原市下切町5-1)

概 要 1 開会の挨拶

よしだ かずひろ
岐阜大学 学長 吉田 和弘

2 関係機関等紹介、関係機関代表挨拶

えさき よしひで
岐阜県 知事 江崎 禎英

3 宇宙工学講座概要説明

4 受講生紹介、受講生代表挨拶

5 宇宙人材育成事業紹介

- ・「Move on to the next stage! 宇宙人材育成が新たなステージへ」
- ・実践プログラム「宇宙甲子園缶サット部門※¹」 全国大会報告
- ・発展プログラム「ぎふハイスクールサット※²」 報告及び衛星愛称発表

6 記念撮影

7 特別講演「NASA in JAPAN※³」

米航空宇宙局（NASA）アジア担当代表 アンドリュー・マシオラ 氏

8 閉会の挨拶

すぎやま まこと
岐阜大学副学長/地域連携推進本部長 杉山 誠

(15:30～) 開講式後 グループワーク

2 取材における注意事項

- ・当日取材を希望される方は、6月21日（土）の16時までに社名、氏名及び連絡先を岐阜大学地域協学センター（武田）までメールにてご連絡ください。

メールアドレス：ccsc@t.gifu-u.ac.jp

3 宇宙工学講座の概要

日 程 令和7年6月～12月の水曜日（16時～17時）

講 師 岐阜大学教員、外部講師 他

受 講 者 県内高等学校の生徒及び高等専門学校の学生

受 講 料 無料

受講方法 岐阜県教育委員会のWeb会議システム(Webex)を利用し、各受講生の所属校及び個人において受講

主 催 国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学

（地域協学センター/工学部附属宇宙研究利用推進センター）、岐阜県

共 催 各務原市、岐阜県教育委員会、公益財団法人岐阜かかみがはら航空宇宙博物館、独立行政法人国立高等専門学校機構 岐阜工業高等専門学校、国立大学法人東海国立大学機構 航空宇宙生産技術開発センター

後 援 一般社団法人岐阜県工業会、中日本航空専門学校

協 力 国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、Planet Science（仏）、川崎重工業株式会社

＜年間スケジュール及び内容（予定）＞※テーマ名、講座順は変更になる可能性があります。

回	実施日	内容（講座テーマ）	場所
開講式	6月22日（日）	宇宙工学講座概要説明、宇宙人材育成事業紹介、特別講演、グループワーク	岐阜かかみがはら航空宇宙博物館
1	7月2日（水）	多波長観測で探る宇宙の極限現象	各生徒及び学生の所属校
2	7月16日（水）	超音速飛行から宇宙へ	
3	8月27日（水）	宇宙軌道とロケット	
4	9月3日（水）	宇宙機の電力システム	
5	9月17日（水）	宇宙機の信号処理	
6	10月1日（水）	調整中	
7	10月15日（水）	無重力環境とその利用	
8	10月29日（水）	軌道上実験プロジェクトの実際	
9	11月5日（水）	モデルロケット・缶サットを2000mまで打ち上げるには？	
見学	11月8日（土） 9日（日）	国立天文台野辺山宇宙電波観測所（長野県） JAXA 筑波宇宙センター（茨城県）	同左
閉講式	12月13日（土）	成果報告、修了証書授与、特別講演	岐阜大学講堂

※1 実践プログラム「宇宙甲子園缶サット部門」全国大会報告

宇宙甲子園缶サット部門全国大会 2024 に出場した参加チームから結果などを報告

宇宙甲子園缶サット部門とは、高校生が自作した空き缶サイズの模擬人工衛星「缶サット」を打上げ、上空での放出・落下・着地の過程を通じて、技術力・創造力を競う競技会。

従来の競技会のように「定められた技能」を競うのではなく、生徒の皆さんが斬新でオリジナリティーのある缶サットを作り、「COOL さ」を競います！

【参考】 HP: <http://www.space-koshien.com/cansat/index.html>

※2 発展プログラム「ぎふハイスクールサット」報告及び衛星愛称発表

プログラムの概要、令和6年度の活動結果、県内高校生から公募した超小型人工衛星「ぎふハイスクールサット」の愛称選定結果の発表

発展プログラム「ぎふハイスクールサット」とは、岐阜大学が行う人材育成事業の一つで、岐阜大学が中心となり、複数の県内工業高校生が企業の支援を受けて超小型人工衛星の設計・製造・打上げ・運用までを一貫して行う実践的な高度宇宙技術者育成プログラム。



※3 特別講演「NASA in Japan」について

NASA のミッションと目標、NASA と日本のパートナーシップの概要および講師が NASA の日本代表となるまでのキャリアの紹介

<講師>

アンドリュー・マシオラ 米航空宇宙局（NASA）アジア担当代表

在日米国大使館を拠点として活動している NASA アジア担当代表。アジアにおける NASA のプログラムを担当し、主要な航空・宇宙プログラムを地域の政府関係者や産業界代表者と連携して進めている。

現職に就く前は、ワシントン D.C. にある NASA 本部の国際・省庁間関係局で9年以上様々な職務に携わった。ジョージ・ワシントン大学 エリオット国際情勢研究科で安全保障研究の修士号、マサチューセッツ大学アマースト校で政治学の学士号を取得。

